

2013.12.16

渡航情報（スポット情報）

（件名）

ケニア：国内各地における爆弾事件の発生に伴う注意喚起

（内容）

1 12月12日午前（現地時間、以下同）、南部沿岸の都市モンバサ近郊で、英国人観光客2人の乗った車両に向けて手榴弾が投げられました。手榴弾は爆発せず、警察当局により爆破処理され、負傷者はありませんでした。また同13日夜、北東部ワジール町で手榴弾2発が爆発し、1人が死亡、5人が負傷しました。さらに14日夕には、ナイロビ市内バンガニ地区で、中型バス車内で簡易爆弾が爆発し、6人が死亡、30人以上が負傷したと報じられています。

2 ケニアでは、9月21日、ナイロビ市内のショッピング・モールを武装勢力が襲撃し、外国人を含む67人が死亡、175人以上が負傷しました。本ショッピング・モール襲撃事件に関し、ソマリアのイスラム過激派組織「アル・シャバーブ」が声明を発表して犯行を認めています。

3 一昨年10月のケニア軍によるソマリア進攻を受け、「アル・シャバーブ」がケニア国内で報復テロ攻撃を行う旨宣言して以来、ナイロビ市及びモンバサ市、北東州ガリッサ県、ワジール県、マンデラ県等において、軍・警察など関係施設、ホテル、ショッピング・センター、レストラン、バー、教会等を標的として、手榴弾や簡易爆弾、銃を用いたテロ攻撃が発生しています。ナイロビ市内においては、これまでにイスリー地区（ソマリア人が多数居住する地域）を中心に、手りゅう弾及び簡易爆弾を使用した爆弾テロが発生していました。

4 ケニアに渡航・滞在される方は、上記の情報に十分留意して最新の治安情報の入手に努めてください。ナイロビ市内においては、外国人が多く利用する施設や人が多く集まる施設（ショッピング・モールやホテル、レストラン、空港等）を利用する際にも細心の注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れるなど、自らの安全確保に努めて下さい。また、標的となる可能性のある政府・軍・警察等関係施設、国連等関係施設、教会等へはできるだけ近づかない、あるいは、滞在時間を短くするなどの対策を取ってください。さらに、不測の事態が発生した場合の対応策を検討し、状況に応じて適切な安全

策が講じられるよう心がけて下さい。

5 なお、最近のスポット情報及び危険情報

(<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo.asp?id=100#header>) を改めて確認するとともに、海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場の同僚等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。また、テロ事件等に遭遇した際には、在ケニア日本国大使館に速やかに連絡を取るようお願いいたします。緊急事態に備え、携帯電話にあらかじめ大使館の連絡先（電話：+254-(0)20-2898000）を登録するとともに、御質問等がある場合は、大使館領事・警備班宛（大使館領事メール：ryouji@nb.mofa.go.jp）にご連絡ください。

（問い合わせ窓口）

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）2902

（外務省関連課室連絡先）

○外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連）

電話：（代表）03-3580-3311（内線）3680

○外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く）

電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

○外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）

○在ケニア日本国大使館

住所：Mara Road, Upper Hill, Nairobi, Kenya

(P.O. Box 60202, Nairobi)

電話：（市外局番 020）2898000（代表）

国外からは（国番号 254）20-2898000（代表）

FAX：（市外局番 020）2898220

国外からは（国番号 254）20-2898220

ホームページ：<http://www.ke.emb-japan.go.jp/j-index.html>